



橋成彦 丹羽雄九郎

荷為換預

935



荷馬換願



私共 高業 仲田

丹羽雄九郎、府下神田通、新石門、
船末品高業、宗号アサヒヤ本店

郎、米國新約克府、高敏、御國産

ノ賣捌キ私共、任文ニ應シ彼地ヨリ右代

金ヲ以テ買入回送致来、要追、盤急昂付

行連モ當知キ注文尺ニテ、金同彼地ニ過上

相成リ依テ國債局ニ為換奉願キ、要別紙

ニ通リ申付為成下申、薩シハ是近高業、子

廣相成居、其要内國商人等、御國産ヲ賣

大正十一年四月
隈侯爵郵寄附

捌キ多ク相頼中ニ前以テキク少クシテ附金
ヲ要求シテ者即ニ其得共差出中ノ附金ノ用
意不充分ナルカタメ不本意ナカラシ其委批ヲ断
決シモ勢カラズ其ノ委批物出テ横濱ニ持出高
ノ巨額金負リシテ洋高ノ當中ニ在ケルニ
ニ甚クツラシク至リニ在リ月々後内国ノ高
人ヲ茶王系等ニ委捌キテ右大臣ノ委
批致シ度申出テ昂ニ格別ニ御詮議ヲ以テ
印局ヲ先ツ元價ノ金負リテ所立ノ印貨附キ
下置其物品ニ並ニ亦國ノ印輸送ノ上右大臣

一 委捌キ方御委任ニ仰付共又ニ私共
先方ニ差送リ委捌カセ共右大臣ノ前又
申上テ通リ國債局ノ為換ラシラ印局ニ
御付去リ殘金私共ニ御下附成下共義ノ
所許容成申付敷成未段付委方奉列レ
也

橋成彦

府下銀座四丁目四番地
長崎縣士族

高業仲間長

丹羽雄九郎

明治十年二月

勸高局長
河瀬亦治殿

為し

私共本局

米國新約克府出店御國產ヲ輸出シ佐藤而
太郎ハ右本店ニテ素捌キ別紙ノ通付金ニ義
石ノ追増額也
是月、為換ラ以テ廻送致居ル番為換
相場騰貴シ其他多額科尋ル掛ノ益
全ク彼ニ海シ独リ一個ノ損耗月々御國家
損失ニ義分カ關シ其義何程ノ孰考有
柄御察ニ於テ各友省海外へ廻送金為換
即取扱シ由傳字所行前件私共素捌キ
代金ノ義額ノ地ニ於テ右而太郎預リ置當

即券より為換金其時、所連之隨口亦海に右
代金、本國より御座り下置、持し御座り
お成り為成在持し下置、御座り公知
便利不、其有出候何事、御座り也

明治九年有

柄成彦

丹羽雄介

保証

佐藤 也

國債憲法

願之救済御事

但金額多取済、御座り、及し運
り公事

明治九年の上り

國債御紙

一切產業、御座り、代價、本國に運送スベキ金額

あり、其し金額、并、本邦に運送、要し、御座り

記載、金額、一日、新約、政府、在、御座り

領事館へ、御座り、御事

前記
金高并其の模倣
載シタ兄弟一
右方の証書
代理人
扱ノ身
墨銀
函スベシ